

No part of this product may be reproduced in any form or by any electronic or mechanical means, including information storage and retrieval systems, without written permission from the IB.

Additionally, the license tied with this product prohibits commercial use of any selected files or extracts from this product. Use by third parties, including but not limited to publishers, private teachers, tutoring or study services, preparatory schools, vendors operating curriculum mapping services or teacher resource digital platforms and app developers, is not permitted and is subject to the IB's prior written consent via a license. More information on how to request a license can be obtained from <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

Aucune partie de ce produit ne peut être reproduite sous quelque forme ni par quelque moyen que ce soit, électronique ou mécanique, y compris des systèmes de stockage et de récupération d'informations, sans l'autorisation écrite de l'IB.

De plus, la licence associée à ce produit interdit toute utilisation commerciale de tout fichier ou extrait sélectionné dans ce produit. L'utilisation par des tiers, y compris, sans toutefois s'y limiter, des éditeurs, des professeurs particuliers, des services de tutorat ou d'aide aux études, des établissements de préparation à l'enseignement supérieur, des fournisseurs de services de planification des programmes d'études, des gestionnaires de plateformes pédagogiques en ligne, et des développeurs d'applications, n'est pas autorisée et est soumise au consentement écrit préalable de l'IB par l'intermédiaire d'une licence. Pour plus d'informations sur la procédure à suivre pour demander une licence, rendez-vous à l'adresse suivante : <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

No se podrá reproducir ninguna parte de este producto de ninguna forma ni por ningún medio electrónico o mecánico, incluidos los sistemas de almacenamiento y recuperación de información, sin que medie la autorización escrita del IB.

Además, la licencia vinculada a este producto prohíbe el uso con fines comerciales de todo archivo o fragmento seleccionado de este producto. El uso por parte de terceros —lo que incluye, a título enunciativo, editoriales, profesores particulares, servicios de apoyo académico o ayuda para el estudio, colegios preparatorios, desarrolladores de aplicaciones y entidades que presten servicios de planificación curricular u ofrezcan recursos para docentes mediante plataformas digitales— no está permitido y estará sujeto al otorgamiento previo de una licencia escrita por parte del IB. En este enlace encontrará más información sobre cómo solicitar una licencia: <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

Japanese A: language and literature – Standard level – Paper 1**Japonais A : langue et littérature – Niveau moyen – Épreuve 1****Japonés A: Lengua y Literatura – Nivel Medio – Prueba 1**

Monday 2 November 2020 (afternoon)

Lundi 2 novembre 2020 (après-midi)

Lunes 2 de noviembre de 2020 (tarde)

1 h 30 m

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Write an analysis on one text only.
- It is not compulsory for you to respond directly to the guiding questions provided. However, you may use them if you wish.
- The maximum mark for this examination paper is **[20 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Rédigez une analyse d'un seul texte.
- Vous n'êtes pas obligé(e) de répondre directement aux questions d'orientation fournies. Vous pouvez toutefois les utiliser si vous le souhaitez.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[20 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Escriba un análisis de un solo texto.
- No es obligatorio responder directamente a las preguntas de orientación que se incluyen, pero puede utilizarlas si lo desea.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[20 puntos]**.

次のテキストの中から**1つ**選んで、分析しなさい。文脈、読者層、目的、および形式や文体の特徴の重要性についても言及しなさい。

テキスト1

オトナになった 女子たちへ

益田ミリ

旅先の金沢で外国の旅行者に道をきかれた。あたふたしてしまい「とても遠い」としか英語で答えられず、まったく役にたたなかったわたし。

土地勘がないとはいえ、ほかに教えてあげられることがあったのになあと後悔する。

「あそこに交番があるので、あなたはそこで道を聞けばよいです。日本の警察官は親切です。どちらからきたんですか？ まあ、カナダ（妄想）ですか。わたしは去年カナダ旅行をしました。ロブスターがめっちゃおいしかったです。どうぞよい旅を」

たぶん、これくらいなら英語で言えた。しかし時すでに遅し。「あたふた族」の我が身を恥じる。

ところで、わたしのよう

手強い一族 その名は

「あたふた族」には手強い一族がいる。「全部言う族」である。その名の通り全部言わないと気が済まない面々だ。

最近、彼らに遭遇したのは東京から大阪に向かう新幹線の中だった。前の座席の人が最大限にシートを倒していたので私は空いてた自分のとなりの席に移ることにした。指定席だが、途中で誰か乗ってきたときに移動すればいいやと思ったわけである。

新幹線は名古屋に到着し、発車後しばらくしても誰も席にやっこなかつた。安心して文庫本を開いた瞬間、

「そちら、わたしの席なので



移動してください」

背後からきた男性に言われたしは跳び上がった。すみません！ ごめんなさい！ あたふたと自席へ戻った後も心臓はバクバク。

そして、落ち着いた頃にこう思うのである。全部言わなくても……。

「そちら、わたしの席なので」で、すでに状況は理解できるし、なんなら「そちら」という出だしだけで伝わる。

しかし「全部言う族」は、全部言う。「移動してください」まで言っちゃう。全部言われると少々キズつくのは、全部言わねばわからないと思われた気になるからだろう。

わかってはいる。彼らに悪気はない。丁寧な一族なのだ。

思えば、わたしに金沢で道を尋ねたあの外国人は「全部言う族」に声をかけていればよかったのだ。おそらく、どれくらい遠いのか、きちんと説明してくれたに違いない。

(イラストレーター)

読者から益田さんへ

進学と同時に家を出て以来、ずっと離れて暮らす娘。年に一度の娘との旅を、のんびり、楽しんでます。甘味処と骨董市に足を運びがちです。

親子の価値観が似ているからでしょう。娘が私に合わせてくれているのかもしれませんが、ありがたいです。(山形県 山田花子(仮名) 64歳)

体験・感想は〒104-8011 朝日新聞文化くらし報道部オトナ女子係へ

◆メールは seikatsu@asahi.com、FAX は 03・5540・7354

益田ミリ「大人になった女子たちへ 手強い一族 その名は」

2019年6月14日付『朝日新聞』朝刊より

- このテキストにおいて、語り手は言葉の使い方によってどのようにトーンを形成しているのか述べ、その効果について分析しなさい。
- このテキストにおいて、二つの異なる文章（コラムと読者の手紙）の使われ方を述べ、構成の効果や読者の反応、テキスト全体に与える影響について分析しなさい。

テキスト 2

「若者のクルマ離れ」説で見落とされる本質

新しい価値を提供できていないことが問題だ

[次ページ »](#)

御堀 直嗣：モータージャーナリスト [著者フォロー](#)

2018/04/30 6:00



若者がクルマに速さや楽しさを求めているかという、話はそう単純ではない (写真：Fast&Slow / PIXTA)

「若者のクルマ離れ」と言われて久しい。日本自動車工業会が今年発表した 2017 年度の乗用車市場動向調査によると、クルマを保有していない 10～20 代のうち、「車を買いたくない」「あまり買いたくない」という回答が全体の 54 % に達した。若者の半数超が車を買いたくないという心境にあることになる。

定かではないが、「若者のクルマ離れ」という言葉は 2000 年ごろから使われだしたようだ。

5 ボタンの掛け違い

若者のクルマ離れについては、経済的側面もあるだろう。クルマを購入し、分割払いやリース料を毎月支払い、そのうえ駐車場の支払いを加えれば、「タクシーに乗ったほうがいい」との価値観が出てくるのも当然だ。しかしそういう人も、クルマが嫌いだとは言っていないのではないか。クルマは便利だと感じているからタクシーを使うのだ。

15 カーシェアリング¹やレンタカーも必要に応じて利用している。

パーク 24² のアンケート調査 (2017 年) によれば、カーシェアリングやレンタカーでデートするのが好きだと答えたのは、20 歳代が 83 % で最も多かった (全体平均は 73 %、30 代 75 %、40 代 73 % など)。

20 なおかつ、デートで運転したいクルマは SUV やコンパクトカーというのが 20～30 歳代でアンケートの半数近く、スポーツカーは 15 % でしかない。

クルマに乗ることを格好よく見せようとして、テレビコマーシャルでクルマをドリフト (横滑り) させたり、スポーツカーを作る自動車メーカーはすばらしいと称えてみたりする様を見かけるが、いずれも、多くのクルマ利用者の気持ちを引かせているのではないかと懸念する。

25 ことほど左様に、クルマへの期待、あるいは関心の内容は異なっており、それほど多様な魅力を持つクルマであるのに、速さや楽しさだけを強調しても、それは商品性の一面でしかない。私の同級生は、クルマの運転を楽しんだことは一度もないが、便利だから使っているし、クルマ選びの基準の 1 つは安全だと言う。そういう顧客に、ドリフトしてみせることがどれほど効果を発揮するのだろうか。

30 若者のクルマ離れを食い止めようとする思いはわかるが、ボタンの掛け違いが起きているような気がする。

「クルマで通勤したいが、帰りに 1 杯呑みに行きたいからクルマは買わずタクシーで済ませる」と話した若い男性もいる。ならば、自動運転のクルマであれば両立できる。

35 1980 年のアメリカのテレビドラマに、「ナイトライダー」という番組があった。そこに登場するキットと愛称が与えられたクルマは、普段は主人公が運転し、何か危機が迫ったときにはクルマが助ける役回りだった。そのドラマを観たことのある 50 歳代の男性は、自動運転に懐疑的であったが、キットの話になると「ああいう自動運転なら自分も欲しい」と言い出した。

自動運転の目指すところは事故ゼロかもしれない。だが、商品性としてはキットのような魅力を顧客に伝えてこそ、消費者の関心と呼ぶことができるのではないか。なおかつ、クルマが自分で駐車場を探してくれるなら、タクシーを道端で待つより快適だろう。

40 ■ クルマを利用することが不便になる側面も

実は、ドイツでもクルマ離れが起きていると、35 年以上ドイツに住んだ友人に聞いた。ドイツには速度無制限区間のあるアウトバーンがあり、高性能なクルマであれば 200km の距離を 1 時間で移動できる。しかし、ずいぶん前から渋滞が多くなってきている。ドイツでも、クルマで移動することが苦痛になりつつある。

45 またクルマの性能も成熟期に入り、スポーツカーでなく SUV でも時速 200km 超で走れる車種があって、商品の独自性が薄れている。

50 国連の推計によれば、2030 年に世界人口の 6 割が都市部に住むようになるという。その人口自体も、年々増加の一途だ。渋滞と縁遠かった各地で、クルマの移動の不便さを実感するようになった。テスラのイーロン・マスク CEO は、そこからロサンゼルスに地下にトンネルを掘って、トレーに乗せたクルマを移動させる案を考え出した。

世界人口増と大都市化によって、クルマそのものというよりクルマを利用することが不便になる側面も出てきている。「若者のクルマ離れ」が言われるようになったのは、既存の価値にとらわれない挑戦する姿を求めていると解釈できるだろう。時代の本質に迫る商品が求められ、そうした商品力やブランド力が問われるのは、所有するにも使うにも同じである。

御堀 直嗣「「若者のクルマ離れ」説で見落とされる本質」
『東洋経済 ONLINE』より一部改変 (2018)

¹ カーシェアリング：登録を行った会員間で自動車を共同使用するサービス

² パーク 24：東京を中心に、駐車場やレンタカー、カーシェアリングなどのサービスを提供する企業

- テキストが対象にする読者層について述べ、その読者層にアピールするためにどのような特徴が用いられているのか分析しなさい。
- このテキストの表現や文章展開の特色を述べ、それが筆者の主張を伝えるのにどのような効果をもたらしているのか分析しなさい。

Disclaimer:

Texts used in IB language assessments are taken from authentic, third-party sources. The views expressed within them belong to their individual authors and do not necessarily reflect the views of the IB.

References:

テキスト 1 益田 ミリ, 2019. 「大人になった女子たちへ「手強い一族 その名は」」『朝日新聞 朝刊』, 14 June. P.X. Source adapted.

テキスト 2 御堀 直嗣, 2018. 「「若者のクルマ離れ」説で見落とされる本質」『東洋経済オンライン』, available at: <https://toyokeizai.net/articles/-/217202> [Accessed 8 June 2020]. Source adapted.

Photo: Fast&Slow / PIXTA